

市民リポーターだより No.8

お母さんたちの心のよりどころに…

～「母親懇談会」があります～



リポーター
小田寿子さん(山神台)

お母さんが主役です

昭和六十年「母親懇談会」は発足いたしました。そのとき、私も会の一員でした。あれから十五年、ますます意欲的に活動していらつしやるお母さんたちに敬意を表すとともに、このような会があるということをも、若いお母さんたちにも知っていただきたく思い、紹介することになりました。代表の田中由美子さんは、郡市はもちろん全国各地に出向かれて学習し「母」としての自分をより高められ、また、たくさんの事例も熟知されています。その田中さんが「母親懇談会」に関するメッセージをお寄せくださいました。

田中さんからのメッセージ

「一人で悩んでいても何も解決しません」

『大館市北秋田郡PTA連合会』は、現在、郡市内小中学校五十八校のPTAで構成される組織ですが、この中に母親会員で構成される「母親懇談会」があります。昭和六十年のころより活動を始めたこの会は、八市町村の地域を超えた交流と、視野を広げる学習の場として成長し、今では県内でも先駆的存在となり、他の郡市のPTA団体組織にも影響を与えるほどになりました。

子育ての責任を負う者として、母親として成長していくことと孤立した子育てからの脱却は、今、

時代がとくに求めているものと思われませんが、その役割を担うのがまさにこのような母親のネットワークではないかと思えます。今の子どもたちの状況を思うにつけ、私たち大人が考え直さなければいけない問題が山積しています。時代が進むにつれ事態はますます複雑化し、子どもたちをめぐめる問題も解決が難しくなっています。

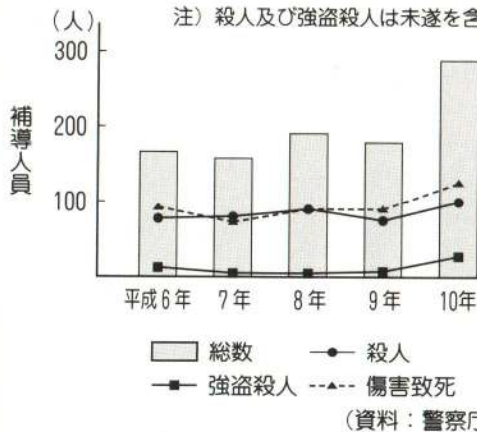
いじめ、不登校、学級崩壊、非行などのほか、大人による目に見える行為も見逃せません。心病む大人の犠牲になった小さい命…。幼

刑法犯少年の補導人員・人口比の推移

年	平成6年	7年	8年	9年	10年
補導人員	131,268	126,249	133,581	152,825	157,385
人口比	12.5	12.5	13.7	16.1	16.9

注) 人口比：少年(14～19歳) 1,000人あたりの数値。

人を死に至らしめる少年犯罪(補導人員)の推移
注) 殺人及び強盗殺人は未遂を含む。



人口比でみると、平成10年には、少年の1,000人に約17人が刑法犯で検挙されたことになり、昭和61年以降最悪の数値になっています。また、強盗や傷害につながりやすい「ひったくり」の数も、最近10年の間に3.1倍にまで増えています。